

質疑応答回答書

名称：市役所本館地下2階非常用発電機改修工事

No.	図面番号	質疑事項	回答
1	E-11	仮設間仕切りの出入口開口サッシと有りますが、現状がアルミ製の場合は高額、製作期間などの問題が発生するため、木製（合板他）で考えて良いのでしょうか。	LGS + 石膏ボード貼で見込んでいます。
2	E-11・12	発電装置寸法（L3330×W1677×H1794）を図示の方向で仮設間仕切りのサッシ開口寸法W2500となっており、発電機の搬入出にあたり、図面上寸法が不足しておりますが、開口を広げても良いのでしょうか。	よろしいです。
3	E-12	上記に伴い建具の復旧を行なう場合、元の寸法に復旧しなくてもよろしいのでしょうか。	仮設間仕切りは搬入出後、撤去となります。
4	E-12	搬入出経路の養生ですが敷鉄板搬出跡床の損傷が予想されるため、補修費は参考数量書に記載が無いのですが、参考数量「P14 鉄板敷き」に含まれるのでしょうか。	よろしいです。
5	A-1	内装復旧の材料は、類似品と考えると良いのでしょうか	既設同等品として下さい。
6	E-7/13	撤去する既存の各発電機機器の寸法等をご教示願います。 また、撤去時燃料小出し槽及び燃料配管内の燃料は空の状態での撤去と考えるとよろしいのでしょうか。	発電機(L4411×W1350×H2075) 燃料タンク(W1000×H810×D670) (旧)冷却水槽(W1000×H1160×D670) 発電機盤・自動始動盤(W800×H2300×D1800) 空気槽(φ490×H1070)×2台 空気圧縮機(L968×W452×H881) 燃料はある状態での撤去となりますので、燃料小出し槽及び燃料配管内の燃料を抜き取り適切な処分が必要となります。
7	E-10/13	③発電機盤から出ている「中央監視へ」「母線切替盤へ」の配線は切り離し既設流用と考えるとよろしいのでしょうか。 また既設流用の場合、劣化診断等の検査は不要と考えるとよろしいのでしょうか。	よろしいです。

質疑応答回答書

名称：市役所本館地下2階非常用発電機改修工事

No.	図面番号	質疑事項	回答
8	E-11/13	間仕切りの仕様（材質・工法等）が不明です。ご教示ください。	No.1と同様。
9	E-11/13	間仕切りの開口に使用するサッシの仕様をご教示ください。	No.1と同様。
10	E-12/13	発電装置寸法（L3330×W1677×H1794）に対し通過するサッシ幅は全て1600なので通過しません。（E-6/13、E-7/13、E-9/13では発電機入口は1800） またサッシの有効高さが不明なので搬入検討ができません。	潤滑油プライミングポンプ等の補器類、補器類を載せる台板を取り外すことにより、W1600以下（最小幅約1200）となります。 サッシの有効高さH2100となります。
11	E-12/13	発電装置を発電機室に引込む際、既設流用の冷却水槽・架台との干渉が予想できます。（搬出入時に冷却水槽・架台を一時撤去すれば可能と判断します）	No.10の通り想定しており干渉しない想定です。
12	-	発電機の既存のメーカーを教えてください	ディーゼル機関：ダイハツディーゼル(株) 発電機：(株)明電舎 です。